



まちがど トピックス



北別井のだんじり



宮町のだんじり

■だんじりお披露目～勇壮な掛け声とともに～

10月第2・3週の土・日曜日、市内各地で、秋の収穫を祝うだんじり祭りが実施されました。また、今年修理をした宮町のだんじりが9月10日に、北別井のだんじりが10月15日に、祭り本番に向けて、それぞれの町内でお披露目されました。見物客は青年団の皆さんの掛け声とともに曳行されるだんじりの勇壮な姿に見入っていました。



■黄金色に実る「奇跡の復興米」

9月19日、桜井町の田んぼで、東日本大震災の被災地岩手県大槌町で津波に流されながらもがれきの間で穂を実らせた3株の稲がルーツの「奇跡の復興米」の稲刈りが実施されました。当日は、喜志小学校の5年生児童89人が参加し、爽やかな青空の下、黄金色に実った稲を協力して一束一束丁寧に刈り取っていました。収穫された復興米の一部は、大槌町などに贈られる予定です。

■菊の花とともに

10月14日、富田林寺内町およびその周辺で、じないまち四季物語2017「秋」～後の雛まつり～が開催されました。これは健康と長寿を願って、秋にひな人形とともに菊の花を飾った江戸時代の風習を再現したものです。当日は、各所に飾られたおひなさまと菊の花が雨の寺内町を鮮やかに彩り、訪れた人の目を楽しませていました。



写真とともに見る9月～10月のできごと



■ドローンを寄贈いただきました

9月1日、災害時の状況把握や情報収集などに役立ててほしいと、本市消防団長の二口 勝之さんより、市消防本部に小型の無人飛行機「ドローン」が寄贈されました。

消防本部にドローンが配備されるのは府内初で、今後は大規模災害時における上空からの現場確認だけでなく、水難事故などでの要救助者の捜索など、消防職員や消防団員が進入困難な現場における有効活用も期待されています。

■お昼ご飯は何にしよう？

9月15日～24日、市内で「富田林まるごとバル！」が開催されました。期間中、バルに参加した市内各地の飲食店や小売店では、バルチケットを持ってお店巡りを楽しむ人のにぎわいがありました。また、台風一過の好天に恵まれた18日には、きらめきファクトリー前で「どのお店に行ってみよう？」「このお店おいしそう！」と楽しそうに参加店の一覧の載った地図を眺めながら、お店を探る家族連れの姿が見られました。



■酒造りとまちづくり

10月14日、寺内町センターで、富田林の酒造業の展示会と、同時代に酒造業で栄えた伊丹の酒造業の講演会が開催されました。

これは府内唯一の重要伝統的建造物群保存地区である富田林寺内町が、今年で同地区選定20周年を迎えることを記念に開催したもの。

講演会では、酒造りの歴史やまちづくりなどについて語られ、参加者は質問を交えながら、熱心に耳を傾けていました。

■秋の訪れを実感

10月8日、9日の2日間、農業公園サバーファームで、恒例の「秋の収穫祭」が開催され、延べ約4000人が訪れました。

期間中は、サツマイモの収穫体験や稲刈り体験をはじめ、玉入れ競争や工作体験など、会場のあちらこちらで楽しいイベントが催され、園内は、実りの秋を満喫する大勢の家族連れや友達同士らで連日にぎわっていました。

